

HEROES

CHAPTER 30

セオリー

自分の特別な能力に気づいた直後、ピーター・ペトレリはヒロ・ナカムラと出会った。未来から来たという険しい表情のヒロは、ピーターに不可解なメッセージを伝えた。

「チアリーダーを救え。そして世界を救え。」

その後、ピーターは再びヒロと会うことになる。現在のヒロと初めて会うと、ヒロは、未来の彼とは正反対で、明るく楽天的な青年だった。この夢と希望に満ちた若者を大きく変えてしまった出来事とは？ ヒロはなぜピーター・ペトレリにメッセージを伝えたのだろうか？

ニューヨークシティ
未来

あれから5年。

NYを吹き飛ばした爆発。
あの惨劇の記念日前夜だった…。

危害を加えるつもりはない。
パトカーに戻って、
部下を引き上げさせろ。

わかった、
言う通りにする…

自分の身を
守るだけの毎日。

その夜も
いつもと同じだった。

スバロー、
外出禁止令が出てるんだ
外出は禁止なんだぞ。

誰の命令よ？
政府？

俺だ。
さっさと帰れ。

悲しい現実
は
考えたくない。

だが俺たちは
敗北に向かってた。

…すでに敗北している
のかもしれない。





あの爆発以来、俺と同じ“特別な人間”たちは憎まれ、追われる立場になった。

それを変えたかった。変えなくてはならなかった。



その方法を探す仕事にとりかかった…いつもの夜のように。



“糸”の作業に取り掛かった。

String Theory

JOE POKASKI
Story
STAZ JOHNSON
Pencils

EDGAR
AT STUDIO F
Digital Inks
& Colors
COMICRAFT
Lettering

An
INVISIBLE COLLEGE
Production



時空を操作しはじめてから5年。ようやく分かい始めた。

時とは、1本の線や1枚の布ではない。様々な人生が織り交ぜられてできあがっている。



もちろん、“サイラー”が鍵だ。奴こそが“爆弾”なのだから。

爆発する前のあいつを俺は刺した。ところが、奴は“再生”した。



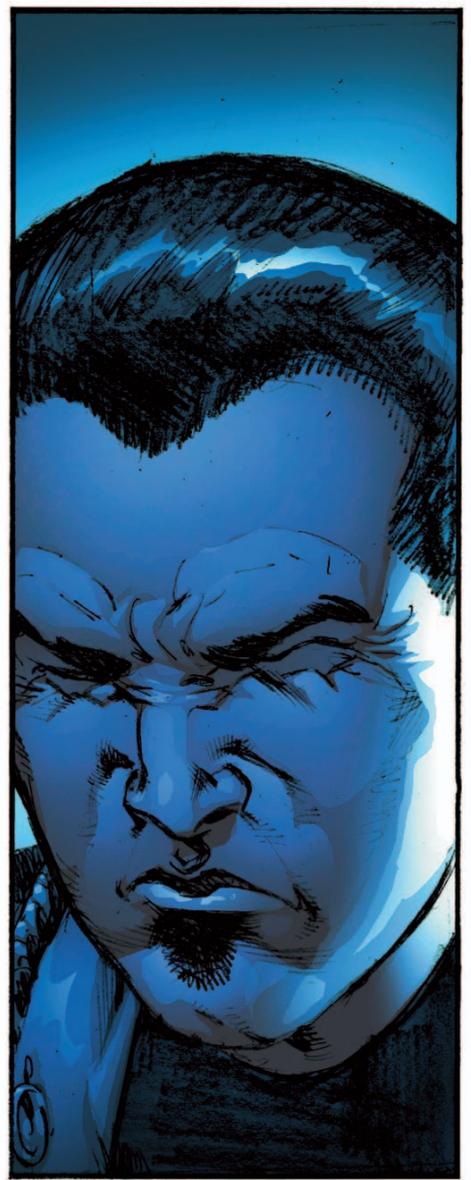
奴がチアリーダーを、クレア・ベネットを殺したからできたことだ。



つまり、世界を救うためには、あの時代の誰かがチアリーダーを救わなければならない。

確実に果たしてくれる人物…

ピーター・ベトレリだ。





俺たちが必要
としている人にな
ってくれ。

待って…

チアリーダーを救え！
そして、世界を救え！



彼にゆだねた。
俺の知っている世界に
ならないよう、
阻止してくれることを願った。

だが、
何も変わらなかった。



うまく行くはずだった。
なぜだ？

どこで間違えたのか？

何かを見逃して
いるのか？



…なぜ部屋の電気が
ついている？



5年間の作業。
5年間の戦い。
全てが無駄だった。

怒りがこみ上げた。
答えが欲しかった。



おまえは。

僕？

しかし、疑問は
増すばかりだった...